



## 「 余 白 」

校長 上 丞 啓介

あけましておめでとうございます。

旧年中は、ひとかたならぬご支援、ご協力を賜りありがとうございました。本年も、職員一同全力で取り組んでまいりますので、変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

さて、昨年末になりますが、2年生の家庭科の授業で調理実習がありました。メニューは、ハンバーグとパプリカを使った色とりどりの野菜ソテーです。生徒たちから「試食をお願いします。」と言われて受け取ったプレートを見た時、パプリカの盛り付けが乱れているように感じました。メッセージカードに目を向けると、そこには「にこにこハンバーグ」という言葉が書いてあり、再度盛り付けを見てみると人の顔がかたどられていることがわかりました。口が小さなハンバーグ、目鼻がパプリカです。こんな工夫をしていたんだと思い、コメントには、「お皿の白い部分、余白を活かした盛り付けを考えると、さらに魅力的なものになると思います。」と書きました。ハンバーグ自体は、大変おいしく出来ていました。

「余白」という言葉を使いましたが、様々な場面でこの言葉を目にしたり、聞いたりしてきたような気がします。赤絵で有名な、柿右衛門の磁器。赤絵がクローズアップされがちですが、実はその赤絵が映えるのは「濁手 (にごしで)」といわれる乳白色の地肌があるからです。そしてもう一つ特徴的なのが赤絵と地肌のバランス、「余白」を意識した構図です。「余白」については、こんな思い出もありました。たしかNHKの放送だったと思いますが、書家の「榊 莫山先生」が、真っ白な半紙に墨を一滴落として「この余白が、何ともいえない」というようなこと言っていました。子どもの頃だったので、このおじいさんは何を言っているのかなと思っていましたが、何か心に残るものがあって覚えているのだと思います。

日本の芸術や文化の特徴の一つに、空間的な間や余白の美しさがあります。書をやっていても最初のうちは、お手本通りに見よう見まねで書いています。つまり、「字」だけを意識しているということです。しかし、長く続けていると字だけではなく半紙という空間全体を見渡すことができるようになってきます。余白に意味が出てきます。余白を意識するようになります。余白の美しさがあり、それを表現しようと思います。莫山先生が言っていたのはこんなことだと思います。人生も同じではないでしょうか。「余白」を美しいものにするためには、やはり日常生活の中で一生懸命勉強したり、一生懸命仕事をしたりすることだと思います。何事も前向きに一生懸命取り組んでいると気持ちも充実し、おのずと「余白」も美しいものになる。

年頭にあたり、少しだけ余白を意識できる年になった自分の今後の生き方について考えてみました。

### 教育評価アンケートのお礼

年末には、お忙しいところ教育評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今年度、新たに自由記述欄を設けての実施となりましたが、この後、いただきましたご意見から本校の課題を明らかにするとともに解決の手だてについて検討し、「学校関係者評価委員会」にてご意見をいただき、平成28年度の学校評価としたいと存じます。全体の結果につきましては、3月の学校だよりで報告させていただきます。



【満面の笑み 空手世界大会入賞！！】

学校教育目標

輝く命 生きる力

目指す生徒像  
目指す教師像  
目指す学校像

気迫ある生徒  
気概に満ちた教師  
活気ある学校

## 学校保健委員会 12月8日(木)

保健委員が『生活習慣と健康に関する調査』についてのまとめを行い、食事のとり方、睡眠の効果などについて調査結果を発表しました。その後、学校医の武石先生から指導・講評とともに正しい生活習慣を継続することの重要性についてお話をいただきました。「生徒アンケート調査をもとにハッキリと大きな声で調査結果を報告することができました。これからは調査結果の良いところは継続し、悪いところは改善するように保健委員として取り組んでいきたいと思いました。」(保健委員長 2年高橋百合子)



保健委員会の発表  
東中のアンケート結果を分析しました。

## 野澤先生 献立教室 12月9日(金)

「1年生の家庭科で『給食の献立の立て方』について黒田先生と一緒に説明し、給食1食分の献立を立てるという授業に参加しました。給食では「主食・主菜・副菜・牛乳」を揃えて考えることや、季節の食材を使うこと、行事食や郷土料理を取り入れていることなどを説明しました。1年生はどのクラスも活発で、質問にすぐに返答があり楽しく授業を行うことができました。2月・3月の給食で各クラスの代表献立を出します。どうぞご期待ください。(野澤)」



学校栄養士の野澤先生の授業

## 吹奏楽部 アンサンブルコンテスト・木管八重奏 銀賞 12月10日(土)

吹奏楽部がクレアこうのすで開催された全日本アンサンブルコンテスト西関東支部予選埼玉県大会に出場し銀賞を獲得しました。レベルの高い大会に参加し、吹奏楽部員達は大いに刺激を受けたようです。「東中吹奏楽部初の県大会、私たち自身も初めてのことでしたが、とても良い経験になりました。ここまでこられたのも、今まで応援してくださった先生方、保護者の方々や地域の皆さまのおかげだと思います。結果は銀賞でしたがこの経験を生かして、これからも頑張っていきますので応援よろしくお願いします。 部長 春山紗玖來」



木管八重奏のメンバー

## どうちゃれ 12月10日(土) 百人一首を実施

今回は学習会に続いて、日本の正月の風物詩でもある百人一首を行いました。最近では、映画でも話題になり、参加者は1枚の札を取ることに集中していました。「百人一首がとても楽しかった。家にもあるのでお正月にやりたい。(1年佐藤妃奈子)」「百人一首をやり、あまり話したことがなかった人とも仲良くなれた。(2年大山眞旺)」「百人一首はとても盛り上がり、いいリフレッシュになった。(3年鈴木沙織)」



百人一首「ひさかたの・・・」

## 会食サービス 12月10日(土)

今回はバスケットボール部女子1年生の渡辺莉月さん、野上朝花さん、佐藤麻利愛さん、溝口瑞歩さん、小休りょうさんの5人が参加し、ドラマで話題の「恋ダンス」を披露し、参加者の笑顔を誘っていました。「準備が大変だったけれど、色々なことが体験できました。(溝口)」「地域の人たちとのコミュニケーションをとることの大切さを再確認しました。(小休)」「お年寄りが積極的に話しかけてくれて楽しかった。(佐藤)」「とても良い体験ができ、来年も参加したい。(野上)」「何かやるとありがとうと言ってきて、ただそれだけでとても嬉しくなりました。(渡辺)」次回は吹奏楽部が担当します。



かわいい「恋ダンス」を披露

## 縦割り交流給食を実施 12月15日(木)

学級委員会の提案で、全校縦割りクラスで交流給食を実施しました。各学年の同じクラスが10数名ずつクラスを移動し、1年生から3年生までが同じ教室で給食を食べながら交流を深めました。これは「いじめ撲滅運動」の一環で実施されたものです。今回の取組をもとにして、更に発展した活動にしていきたいと検討しています。最初は緊張してなかなか会話も進まないようでしたが、給食が終ころには、すっかり打ち解けていました。



3学年と一緒に給食をいただきました。

## ビブリオバトル県大会 12月18日(日) 北本市民文化センター チャンプ本に輝く!

3年 南和花さんがビブリオバトル県大会に出場し、紹介した「女王はかえらない」が見事チャンプ本に選ばれました。当日会場には著者の降田天さん(萩野瑛さん・鮎川颯さん)が来られており、閉会后南さんと面会し、受賞をお祝いいただきながら、しばし談笑をされました。「今回ビブリオバトル県大会に出場して、普段できないような経験をたくさんさせていただきました。私が紹介した『女王はかえらない』をたくさんの方が『読んでみたい』『読んで面白かった。』と言ってくれてとても嬉しかったです。応援してくださったみなさん、本当にありがとうございました。」



著者と一緒に記念撮影、おめでとう!

## 部活動等の表彰 ~健闘を讃える~

- ・吹奏楽部 第40回全日本アンサンブルコンテスト西関東支部予選埼玉県大会・木管八重奏 銀賞
- ・科学技術部 埼玉県科学教育振興展覧会地区展 最優秀賞  
第16回さいたま市児童生徒科学教育振興展覧会 最優秀賞 科学技術部
- 2年 田中俊汰 波多野佑斗 高橋百合子 西塚来輝 平越元 清宮神音
- 1年 中田愛美 鳥居陽太 平原悠里 朝日優太 竹田笙馬 南部隼真 新妻達有 谷内菜津希
- ・女子バスケットボール部 埼玉県ジュニアバスケットボール連盟さいたま市選抜選出選手
- 2年 岡田空 吉塚ゆい 吉澤由真 鶴野楓奈 小野瑞歩 網野碧波 関口杏璃
- 同埼玉県選抜選手 吉塚ゆい 同選抜ジュニアオールスター埼玉代表選手 岡田空
- ・平成28年度社会を明るくする運動ポスターコンクール 最優秀賞 2年 水谷優里
- ・平成28年「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト 最優秀賞 2年 齋藤はな
- ・第16回さいたま市理科教育研究発表会区審査会 優良賞 2年 川井康平
- ・平成28年度さいたま市児童生徒発明創意くふう展 特選賞
- 1年 佐藤遥 福田彩花 坂井海帆 リンゼイ来図
- ・2016 極真世界空手道選手権ブルガリア大会青少年女子12-13歳・組手 第3位 1年 平井涼日
- ・さいたまトリエンナーレ2016「市立中学校応援旗」トリエンナーレ賞 3年4組
- ・第14回さいたま市児童生徒作文コンクール 優秀賞 2年 齋藤はな
- 入選 3年 秀島乃愛 1年 内山優海
- 佳作 3年 加藤芽依 中原綾美 2年 佐藤空大 寺田理子 1年 小田切優奈 長井あかり
- ・卓球女子冬季大会 団体ベスト16
- ・卓球男子冬季大会 団体予選リーグ惜敗

